

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。  
書肆心水 FAX 03-6677-0682

# 日中衝突三十年 現地外交の志

道義的経済政策と侵略的軍事の抗争

堀内干城

現地に密接した合理的経済外交と軍事とのせめぎあい

外務省対英米協調派の中国における実務の意義

二十一ヶ条要求から第二次大戦戦後処理まで、日中衝突の三十年のあいだ日中外交本街道を歩み、そのうち二十年を続けて現地の実務当事者、責任者として過ごした稀有な体験から「道義派と拡張派の抗争」の歴史を語る。現地社会に密接した具体的経済外交とそれに伴う日中関係の推移、軍事的勢力の拡張が徐々に英米権益を圧迫し危機へと向かう状況、そして日本降伏後の中国における復興事業。

堀内干城（ほりうち・たてき）  
1889年生、1951年歿。外交官。東亜同文書院卒、京都帝国大学法科大学卒。1918年外務省入省、通商局勤務。1927年ロンドン大使館二等書記官。1929年上海公使館一等書記官。1936年天津総領事。1938年参事官兼北京総領事。1939年本省東亜局長。1940年公使兼上海総領事。1942年大使輔佐の公使として南京勤務。1948年帰国。

序に代えて——何故私は筆をとったか  
私の出発  
幣原外交第一期  
北京関税特別会議開催さる  
幣原外交第二期  
満洲事変勃発す  
幣原外交第三期——有吉、汪精衛国交調整  
日華事変前後  
嵐の中の天津  
北京で——軍への抵抗  
事変処理への努力  
再び嵐の現地へ——上海  
対華新政策遂に空し  
投降後の中国残留三年半  
中華人民政府の実態  
結び  
脱稿の後に  
索引

新刊  
注文扱返条付  
清藤

	<b>日中衝突三十年 現地外交の志</b> 道義的経済政策と侵略的軍事の抗争 堀内干城 ISBN978-4-910213-22-4 C0020 A5判上製 256頁 本体6300円+税	<b>12</b> 月下旬刊
	FAX 03-6677-0682 でんわ 03-6677-0101 <a href="http://www.shoshi-shinsui.com">http://www.shoshi-shinsui.com</a>	書肆心水 Shoshi Shinsui

ご注文は JRC へ 03-3294-2177 すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。(了解者 JRC 佐藤)